

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	人工神経接続による運動機能再建と機能回復機序の解明～神経適応から可塑性へ～
研究代表者	西村 幸男 （公益財団法人東京都医学総合研究所・認知症・高次脳機能研究分野・プロジェクトリーダー） ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、脳と脊髄を人工的に接続し、その適応や神経回路の再組織化について解明する意欲的なものである。応募者はこれまで、サルを用いたシステム神経科学や、ヒトの脳イメージング等に関する十分な研究実績を有しており、本研究においても、サル及びヒトそれぞれの利点を活かし、よく考慮された実験計画が立案されている。</p> <p>本研究の成果は、脳梗塞や脊髄損傷の患者に対するリハビリテーションへの応用に資することが期待される。また、脳と脊髄のどちらが主体となって神経再結合が生じるのかなど、脳や脊髄の神経生理機能の探求という面でも高い価値がある。</p>